

## **システムアーキテクト試験 シラバス変更に関する対応**

IPA は、午前試験の試験シラバスにおいて「システム開発技術」の分野の内容の修正を行いました。この分野は、システムアーキテクトの午前試験問題の 44%を占める最重要分野です。ただし、午後試験の試験シラバスにおいて一切変更はなく、「システム開発技術」の内容は従来どおりです。午前試験の修正の大きなポイントは次の 3 点です。

- 1.「システム方式設計」「ソフトウェア方式設計」の「方式」の言葉を廃止して、「システム設計」「ソフトウェア設計」としました。
- 2.「システム適格性確認テスト」「ソフトウェア適格性確認テスト」の言葉を廃止して、「テスト」としました。
- 3.「結合」の言葉を廃止し、「統合」としました。

4 月の試験において、午前の試験問題の表現が変更後の用語に変わると考えられます。ただし、それは表現上の用語の変更であって、その用語の説明に書かれている内容が消えるわけではありません。新しい用語でその内容を出題する可能性があります。

午後の試験問題においては、変更のアナウンスがありませんので、上記の 1～3 の表現は古いまま出題される可能性があります。

◎参考(IPA 情報処理推進機構ホームページより)

情報処理技術者試験における出題範囲・シラバスの一部改訂について(システム開発技術分野の JIS 改正への対応)

→ [https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_00topic/topic\\_20211026.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_00topic/topic_20211026.html)